

おいでよ!地島に 漁村留学をしてみませんか!

令和5年度(第21期)

「漁村留学生」募集のご案内

あなたは、海が好きですか?魚が好きですか?小鳥が好きですか?もしそうなら、澄み切った青い海と空、緑の森に包まれた美しい島、ここ地島で漁村留学をしてみませんか?

そこには、慈愛に満ちた人情味あふれる島の人々(昔は「慈島」とも言われていたそうです。)との出会い、素晴らしく美しい自然との出会いが皆さんを待っています。

来年で21年目を迎える漁村留学は、豊かな大自然、島の人々との心温まるふれあいを通して、子ども達の自然や地域の人々、そして家族への思いやりの心を育みます。また、協同生活体験を通して、親への感謝の気持ちを深め、ものの大切さを知り、たくましく、そして、自立する力を伸ばします。

留学に関する募集要項、島や学校の様子等を以下に記載していますのでご一読ください。心からお待ちしています。

《募集要項》

1 受け入れの条件

- (1) 体験を通して自立性を養おうとする健康な4・5・6学年(令和5年度)の男女児童
- (2) 児童(本人)、保護者の双方が漁村留学の趣旨をよく理解し、熱意があること

2 募集人員 5~6名程度

3 留学期間 1ヵ年(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

4 委託料

- 生活費として毎月4万5000円
- 他に各学期3万9千円程度(学校教材・給食費2万9千円程度、医療・お小遣い等1万円程度)

5 募集期間 令和4年10月1日(土) ~ 令和4年12月23日(金)

6 説明会 令和5年1月14日(土) 予定 ※会場:宗像市立地島小学校

- 地島小学校や「なぎさの家」(漁村留学センター)等の現地見学
- 漁村留学に関する説明及び個別面談等

7 応募方法 右記「漁村留学を育てる会」事務局、または地島小学校までお電話ください。 受付後、詳しい資料等を郵送またはFAXします。

8 選考方法 応募者の多少に関わらず、選考委員会による厳正な選考の上、決定します。

主催 地島校区漁村留学を育てる会 後援 宗像市教育委員会

宗像市は福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、玄界灘に面した、文化や経済、交通の面において古くから大陸と日本を結んでいる要所です。世界文化遺産に登録された沖ノ島をはじめ、宗像大社、鎮国寺など歴史的な史跡も多く存在します。

地島は玄界灘と響灘の境に浮かぶ周囲9キロメートルの東西に長い島で、四季折々の鮮やかな色彩を映す山々があり、メジロ、ホトトギス、ウグイス、キジなど、鳥の宝庫でもあります。また、島内各所には約6000本のヤブ椿が自生し、春には美しい花を咲かせます。

現在、島の人口は約160名で、泊、白浜の2集落があり、ほとんどの世帯が漁業に従事しています。



《地島小学校の紹介》

泊港で市営渡船を降り、四季折々の草花あふれる県道を歩くこと約15分のところに、島で唯一の学校、地島小学校があります。令和4年度は1年、2年、4~6年の3学級、児童数8名(漁村留学児童5名(男子2名、女子3名)を含む。)、職員数9名の小さな学校です。(令和4年9月1日現在)

地島小学校の教育目標は「人や社会とかかわりながら、学び続ける子どもの育成」です。その目標を達成するために、地島の自然・文化に学ぶ総合的な学習(海と関わる・椿と関わる・島の文化と関わる)に取り組んでいます。また、異学年合同学習と少人数指導・個別学習を組み合わせ、「他者と関わりながらなりたい自分になる力」を育成しています。

学校では、地域・PTAとともに、下の写真のような、島ならではの楽しい行事のほか、子ども達に豊かな自然・社会体験(魚釣り、魚さばき、地域交流等)を支援するための、多種多様な活動を行っています。

また、玄海中学校、玄海小学校、玄海東小学校とともに、「玄海学園」の一員として小中一貫教育を推進し、9年間を見通した子どもの育成や様々な交流活動を行っています。



《漁村留学センター「なぎさの家」の紹介》

泊港からすぐのところに、漁村留学センター「なぎさの家」があります。ここでは、子ども達のお世話をする指導員、寮母さんと一緒に、寝食をともにした協同生活を行います。「自分で出来ることは自分で、自分達で出来ることは自分達で」を基本方針にすえた規則正しい生活をしています。

応募・お問い合わせ先

「地島校区漁村留学を育てる会」事務局(なぎさの家)

○ 所在地 〒811-3511 宗像市地島136-13

○ TEL・FAX 0940-62-3394

※ 留守の場合及び昼間 宗像市立地島小学校(教頭まで)

○ TEL 0940-62-1171 FAX 0940-62-1911

